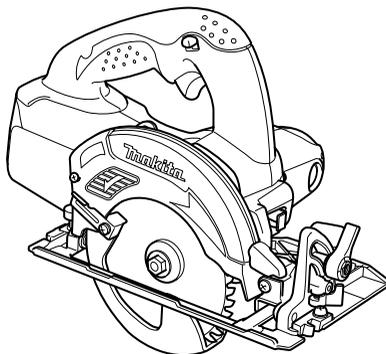
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

125mm
充電式マルノコ

モデル SS540D

このたびは**充電式マルノコ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

主要機能＼モデル	SS540D
電動機	直流マグネットモータ
バッテリ	リチウムイオンバッテリ
	バッテリ BL1430（容量 3.0Ah）
電圧	直流 14.4V
回転数	4,300min^{-1}（回転 / 分）
ノコ刃寸法	外径 125mm ×内径 20mm
最大切り込み深さ	46mm（90゜）/30mm（右 45゜）/18mm（左 15゜）
傾斜切断	右 45゜～左 15゜
本機寸法	長さ 301mm ×幅 185mm ×高さ 227mm
質量（バッテリ含む）	2.6kg

急速充電器	DC18RC	入力容量	410VA
入力電圧	単相交流 100V	出力電圧	直流 7.2-18V
入力周波数	50-60Hz	出力電流	直流 9A

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA002-32

・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. マキタ専用の指定のバッテリ（電池）以外を使わないでください。
・ 改造したバッテリ（電池）(分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリ（電池）を含む）を使用しないでください。工具本体の性能や安全性等も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。
2. バッテリ（電池）は、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. バッテリ（電池）に釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. バッテリ（電池）の端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリ（電池）を金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリ（電池）にバッテリ（電池）カバーを必ず取り付けてください。
5. バッテリ（電池）を火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
6. バッテリ（電池）は専用充電器以外では充電しないでください。
・ バッテリ（電池）の液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
7. 正しく充電してください。
・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
・ 周囲温度が１０℃未満、または周囲温度が４０℃以上ではバッテリ（電池）を充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
・ バッテリ（電池）は、換気の良い場所で充電してください。バッテリ（電池）や充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
8. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
・ 感電の恐れがあります。

⚠警告

9. 作業場の周囲状況も考慮してください。

・ 充電工具、充電器、バッテリ（電池）は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。

・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

・ 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

10. 保護めがねを使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音用保護具を着用してください。

・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

12. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

・ 材料を固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

13. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリ（電池）を本機から抜いてください。

・ 使用しない、または修理する場合。

・ 刃物（刈刃）、ビットなどの付属品を交換する場合。

・ その他危険が予想される場合。

14. 不意な始動は避けてください。

・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。

・ バッテリ（電池）をさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

15. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

・ この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

16. バッテリ（電池）の液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

17. 使用時間が極端に短くなったバッテリ（電池）は使用しないでください。

18. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリ（電池）は使用しないでください。

19. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

・ 爆発や火災の恐れがあります。

20. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール等の上では充電しないでください。

・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物を差し込まないでください。

・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

21. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

⚠注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 子供を近付けないでください。
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近付けないでください。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
- バッテリ（電池）を、周囲温度が５０℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリ（電池）劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

4. 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
- モータがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合った充電工具を使用してください。
- 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物（刈刃）類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
- コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⚠注意

9. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物が付着している場合は除去してください。
・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
10. 無理な姿勢で作業をしないでください。
・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
11. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
12. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
13. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
・ 疲れている場合は、使用しないでください。
14. 損傷した部品がないか点検してください。
・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
15. 充電工具の修理は、専門店にお申し付けください。
・ 本体、充電器、バッテリ（電池）を分解、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・ 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
16. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

充電式マルノコ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式マルノコとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB056-12

⚠警告

1. 安全カバーは絶対に固定したり取り外したりしないでください。また、円滑に動く事を確認してください。
・ ノコ刃が露出したままですとけがの原因になります。
2. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲のノコ刃を使用してください。また、刃底径が 102mm 以下のノコ刃は使用しないでください。
・ けがの原因になります。
3. 切断する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
4. 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでノコ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
・ ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
5. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、ノコ刃の出ししろの 3 倍以上にしてください。
・ このような台がないと、けがの原因になります。
6. 使用中は、本機を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、本機が振れ、けがの原因になります。
7. 使用中はノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
・ けがの原因になります。
8. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本機を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り、回転が完全に止まってから本機を持ち上げるようにしてください。
9. 本機を万力などで保持した使い方はしないでください。
・ 不意の接触などで、けがの原因になります。
10. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠注意

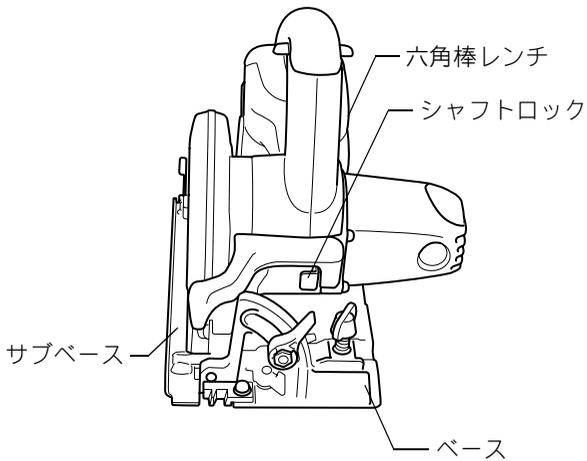
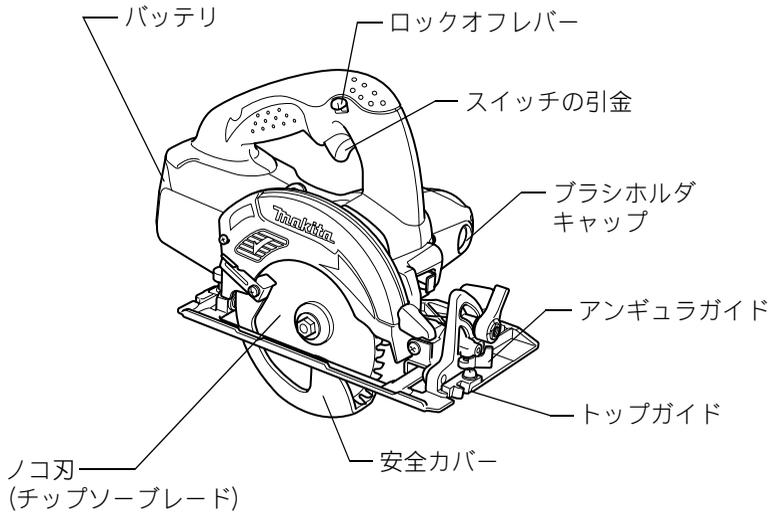
1. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本機の振動やノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
・ 異常があるとけがの原因になります。
5. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
6. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
7. 切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しないでください。
・ けがの原因になります。
8. 回転するノコ刃で、コードを切断しないように注意してください。
・ 感電の恐れがあります。
9. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 切断砥石を使用しないでください。

注

・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で故障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm^2	20m
2.0mm^2	30m

各部の名称および標準付属品

各部の名称および標準付属品

製品の組み合わせ及び標準付属品

標準付属品＼モデル	SS540DZ（青） SS540DZW（白）	SS540DRF（青） SS540DRFW（白）
バッテリ	×	○ バッテリ BL1430 (3.0Ah)
充電器（充電時間）	×	○ DC18RC（約 22 分）
プラスチックケース	×	○
125mm 木工用チップソー (24 枚刃) ※本機取り付け 部品番号　A-45010	○	○
六角棒レンチ ※本機取り付け	○	○
ダストノズル	○	○
ナベ小ネジ M4 × 16 ※本機取り付け	○	○
バッテリカバー	×	○

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

・ 平行定規
　部品番号　164095-8

・ 平行定規 600
　部品番号　164614-0

・ 直角定規
　部品番号　JPA123031

・ 傾斜定規
　部品番号　122253-2

・ 傾斜定規（左きき用）
　部品番号　A-35863

・ ホースコンプリート 28-5m セット品
　部品番号　A-34229

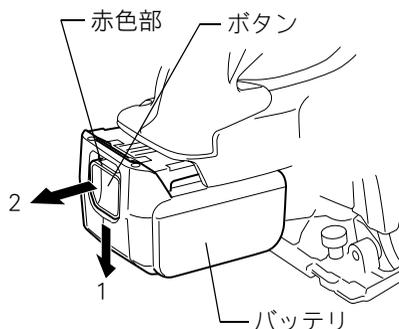
・ ホースコンプリート 28-1.5m セット品
　部品番号　A-34235

・ バッテリ BL1430（容量 3Ah）
　部品番号　A-42634

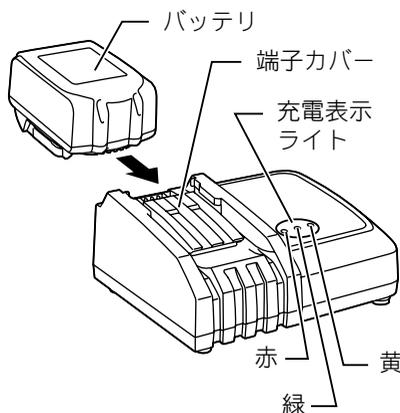
使い方

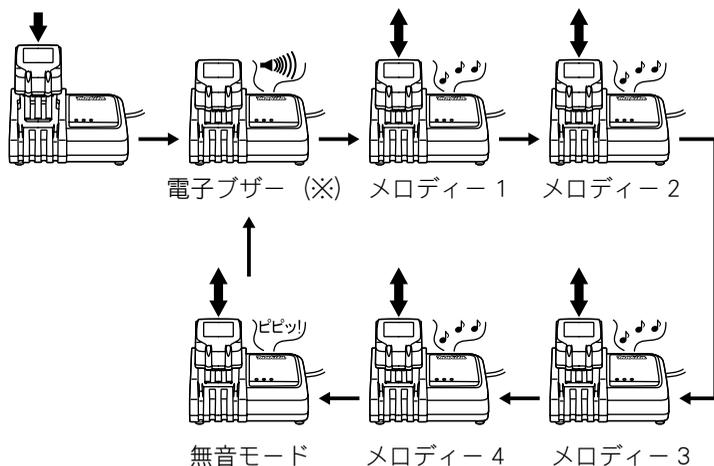
バッテリの取り付け・取りはずし方

・ バッテリを本機から取りはずす時は、
  1. バッテリ正面のボタンを下げながら
  2. スライドさせると取りはずせます。
・ 取り付ける時は逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていません。（スイッチを操作すると本機は動くおそれがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリの充電方法

1. 急速充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリを急速充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。
3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、現在設定されている充電完了メロディーが短時間流れ、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。そのままバッテリを挿入しておけば、バッテリを冷却します。充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
4. バッテリを抜き取り、電源コンセントから急速充電器の電源プラグを抜いてください。

充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定（※）されている充電完了メロディーが短時間流れます。
2. この時、約 5 秒以内にバッテリを差し直すと充電完了メロディーが変わります。
3. 続けて約 5 秒以内にバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーが順に変わります。
4. 設定したい充電完了メロディーが流れましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
   「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音がしません（無音モード）。
5. 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザーが鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。
6. 設定した充電完了メロディーは急速充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。

（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

使い方

充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
○ 緑(点滅) ○	充電前「緑１個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
赤(点滅) ○ ○	冷却中「赤１個」点滅 バッテリが高温です。冷却後、自動的に充電開始します。
赤 ○ ○ 赤 緑 ○	充電中「赤１個」点灯 バッテリ容量約0～80％を示します。 充電中「赤１個・緑１個」点灯 バッテリ容量約80～100％を示します。
○ 緑 ○	充電完了「緑１個」点灯　電子ブザーまたはメロディー
赤(点滅) 緑(点滅) ○	充電不可「赤・緑１個」交互点滅 電子ブザー バッテリ寿命またはゴミづまりで充電できません。
○ ○ 黄	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリ寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
○ ○ 黄(点滅)	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

注

- DC18RC はマキタバッテリ専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。
- 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピッピッピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- バッテリを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態に応じて変動します。
- 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却も行ないますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。
- 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
  × 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  × バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない
  × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない。）

冷却システムについて

- バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります。このような時は、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
- 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
- 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

使い方

オートメンテナンス機能について

・ オートメンテナンス機能は、バッテリの使用状態に応じて自動的にバッテリを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としてます。
・ 下記 1 ～ 5 の状態となった場合、特にバッテリ寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
  1 高温充電の繰り返し
  2 低温充電の繰り返し
  3 満充電バッテリの再充電の繰り返し
  4 過放電の繰り返し（過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です）
  5 冷却システム異常での充電の繰り返し

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったスライド式バッテリは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  × 温度や湿度の急変する所
  × 湿気の多い所
  × 直射日光の当たる所
  × 揮発性物質の置いてある所

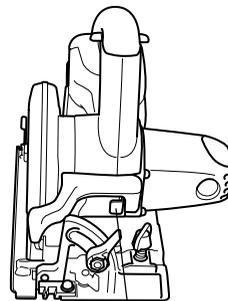
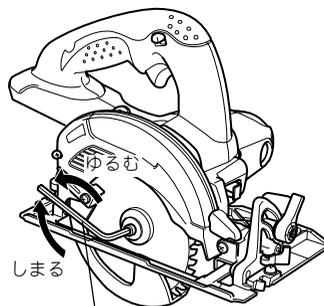
使い方

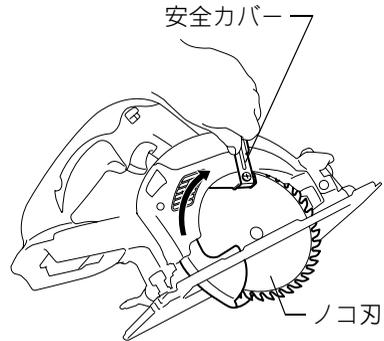
ノコ刃の取り付け・取りはずし方

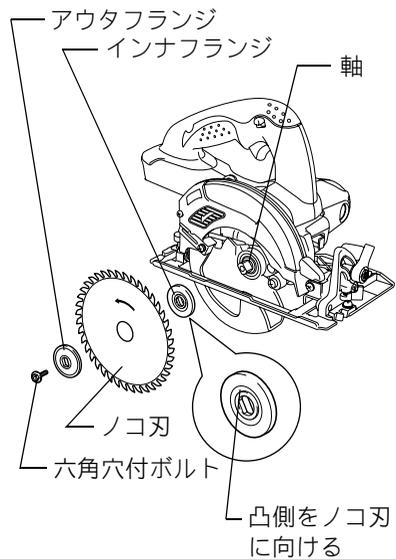
⚠警告
ノコ刃の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリを抜いてください。 ・　バッテリを差したまま行うと事故の原因になります。

⚠注意
ノコ刃を取り付けるときは、本機についている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。 ・　矢印に合わせないとノコ刃の回転方向が逆回転となり、刃先を痛めたり、けがの原因になります。 **ノコ刃の着脱は付属の六角棒レンチ以外の工具は使わないでください。** ・　締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

取りはずし方

・　シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止めをし、六角棒レンチ をノコ刃を締め付けている六角穴付ボルトにはめ込み、左に回してはずしてください。

使い方

・ アウタフランジを取りはずし、手で安全カバーをいっぱいまで引き上げた状態で、ノコ刃を取りはずしてください。

取り付け方

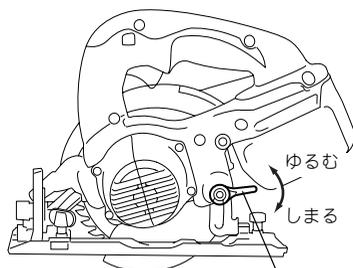
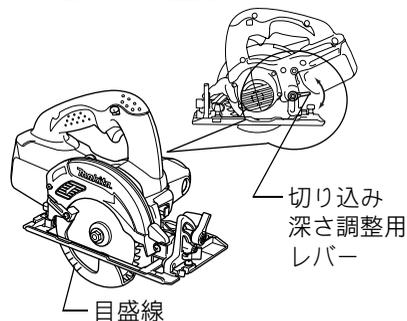
・ 軸にインナフランジ→ノコ刃→アウタフランジ→六角穴付ボルトの順に取り付け、六角穴付ボルトをしっかりと締め付けてください。

注

・ ノコ刃の ↙ マークと本機の ↙ マークの向きを合わせて取り付けてください。

切り込み深さの調整

・ 切り込み深さ調整はレバーをゆるめて、お望みの深さにベースを上げ下げして調整してください。
・ 調整後は、レバーをしっかり締め付けてください。
・ 安全カバーにはノコ刃外径 125mm 用の目盛が付いています。ベースとノコ刃が直角のときは、この目盛を利用して切り込み深さが調整できます。目盛線は 3mm (1 分) ごとに付いています。

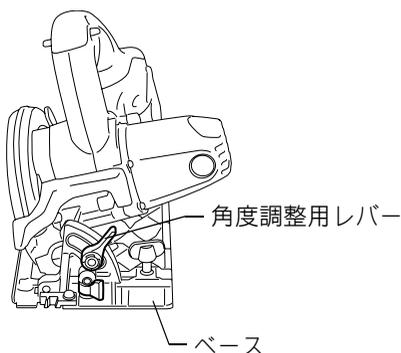
切り込み
深さ調整用
レバー

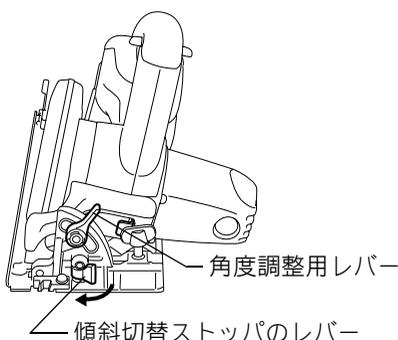
目盛線

注

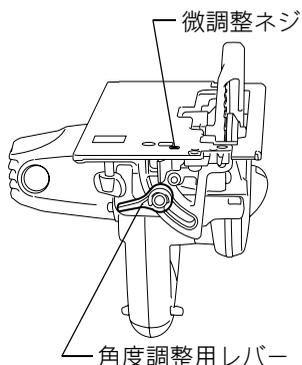
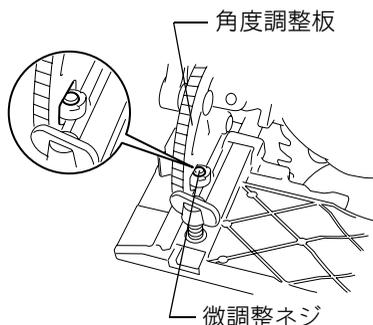
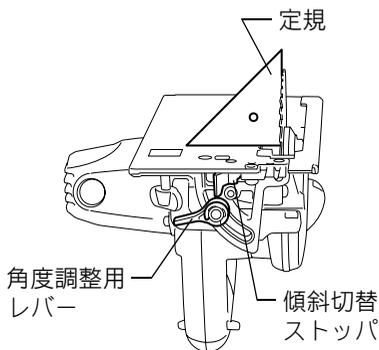
・ 材料が薄いときは、切り込みを浅くしてお使いください。
・ 本機に付いている目盛線をベース面に合わせることでおおまかな切り込み深さに設定できます。切り込み深さを正確に調整するときは、ノコ刃の出しろを実測してください。なお、ベースとノコ刃を傾斜させているときは、この目盛線は使えません。

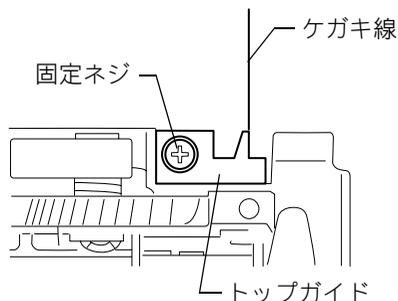
傾斜角度の調整

右傾斜（0 ～ 45 度）の場合

・ 角度調整用レバーをゆるめて、傾斜切替ストッパが確実に戻った状態でお望みの角度（0 ～ 45 度）に本機を傾けてください。調整後は、角度調整用レバーをしっかり締め付けてください。

左傾斜（0 ～ 15 度）の場合

・ 切り込み深さ調整用レバーをゆるめて、ベースを一番下までさげ、レバーを締め付けてください。
・ 角度調整用レバーをゆるめて、傾斜切替ストッパのレバーを回しながら、お望みの角度（右傾斜 0 ～ 15 度）に本機を傾けてください。調整後は、角度調整用レバーをしっかり締め付けてください。

直角切りの微調整

- 本機はノコ刃とベースの角度を正確に 90 度にできるように、微調整ができます。出荷時には 90 度になるよう調整してありますが、万一、微調整ネジが動いて角度が狂っているようでしたら、次のように調整してください。
- 微調整ネジをゆるめておきます
- 角度調整用レバーをゆるめます。

- 傾斜切替ストッパが戻った状態にし、ノコ刃とベースの底面に直角の出ているもの（さし金、直角定規など）を当て、直角になったところで角度調整用レバーをしっかり締め付けます。
- 微調整ネジを回し、ネジの先端が角度調整板に当たった所で止めます。
- 再度ノコ刃とベースの底面に直角の出ているもの（さし金、直角定規など）を当て、直角になっていることを確認してください。

トップガイド

- 切断するときは、図のようにトップガイドとケガキ線を合わせます。
- 固定ネジをゆるめると、ノコ刃とトップガイドの位置関係を調整できます。

スイッチの操作

⚠警告
本機にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・　スイッチを入れたままバッテリを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

⚠注意
本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本機をしっかり保持してください。
・　本機を落としたりして、けがの原因になります。

- スイッチはロックオフレバーを押し下げた状態で引金を引くと入り、離すと切れます。
- スイッチの引金を離すと自動的にロックオフレバーが戻り、スイッチが入らない状態になります。

ライトの点灯

⚠注意
ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。
・　ライトの光が連続して目にあたると、目をいためる原因になります。

・　ロックオフレバーを押し下げないでスイッチの引金を引くとライトが点灯します。（本機は作動しません）
・　ロックオフレバーを押し下げながらスイッチの引金を引くとライトの点灯後、本機も作動します。

注

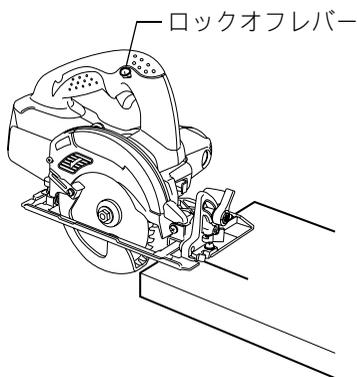
・　**ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布等で拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。**
・　**ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズを傷めます。**

使い方

切断方法

⚠警告
バッテリは確実に本機に差し込んで下さい。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んで下さい。
・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。
切断中に本機をこじたり、強く押し過ぎたり、バックさせて切断したりしないようにしてください。
・ モータに無理がかかるばかりでなく、強い反発力を生じ、けがの原因となります。

- 材料の上にベースをのせ、ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ(ライト点灯)、ベースを材料に密着させ、ケガキ線に合わせてください。
- 本機をしっかり保持し、ロックオフレバーを押し下げながらスイッチの引金を引いてノコ刃を回転させます。
- ノコ刃の回転が完全に上昇し、安定したら、そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。

注

- **予備のバッテリを使用して連続作業をされる場合は、機械を 15 分以上休止させてください。**

一回の充電での作業量

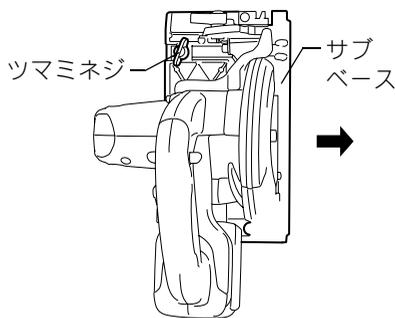
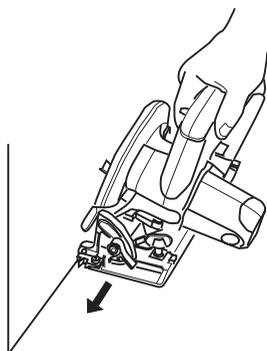
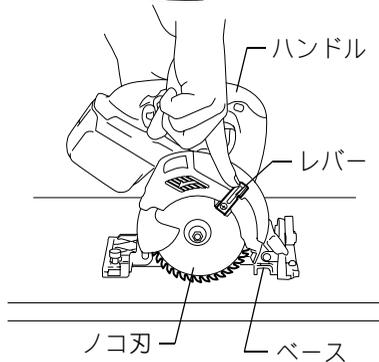
- 数値は参考値です。
- 数値は木材の状態、ノコ刃の切れ味などにより異なります。

材料	切断量
ブナ材（28mm × 300mm)	約 35 本
2 × 10 材 (38mm × 235mm)	約 50 本

際切り方法

⚠注意
本機の進行方向に対し、左側に体が位置するような姿勢で作業してください。
・ 本機の後ろに位置すると、強い反発力が生じた場合にけがの原因になります。

使い方

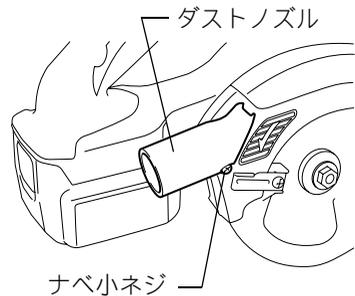
・ 際切りとはフロア等を壁際ぎりぎりで切断する作業のことで、フロア等張り替え作業に便利です。
・ 傾斜角度を左傾斜最大に設定し、材料の厚さに合わせて切り込み深さを調整してください。
・ サブベース締め付け用ツマミネジをゆるめて、サブベースを本機からはずしてください。

・ 本機のハンドルを持ち、ベース先端右側を壁とフロアに当て、ベース後部右端は壁から少し離して保持してください。
・ もう一方の手で安全カバーのレバーを引いてベース下のノコ刃を露出させてください。(安全カバーのレバー位置は右図参照)
・ ノコ刃が壁とフロアに接触していないことを確認してスイッチを入れてください。
・ ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、ベース先端をフロアに押え(ベース先端を支点にして)、壁を切り込まないよう注意しながら、本機をゆっくりと下げてフロアの隅を切り込んでください。ベース全体がフロアに接したらレバーを離してください。
・ 本機をしっかり保持し、ベース右側側面を壁に沿わせながらゆっくりと前方へ切り進めてください。
・ 切り終わったらスイッチを OFF にし、ノコ刃の回転が完全に止まってから、本機をフロアから取り出してください。

注

・ 左傾斜時はノコ刃の刃先がベースの右側側面より出ていますので切り込んでいくときに壁を切り込まないように十分に注意してください。
・ 切り込みを入れる箇所に釘などの異物がかくれている場合がありますので、作業中に異常を感じたらすぐにスイッチを OFF にし、作業を中止してください。

ダストノズルについて

・ 本機にダストノズルを取り付けることにより当社集じん機と接続でき、衛生的に作業をすることができます。

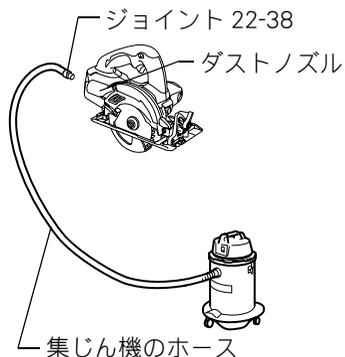
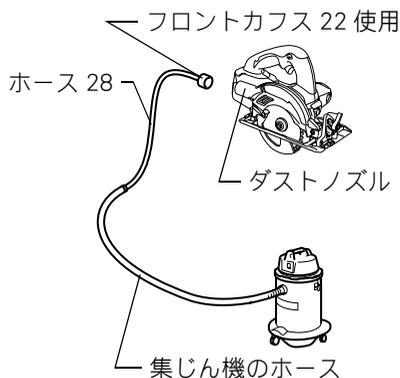
ダストノズルの取り付け方

・ 本機に図のようにナベ小ネジで取り付けてください。

注

・ 集じん機を接続しない場合は、ダストノズルをはずしてください。ダストノズルを取り付けたまま使用すると、切屑がつまる場合があります。

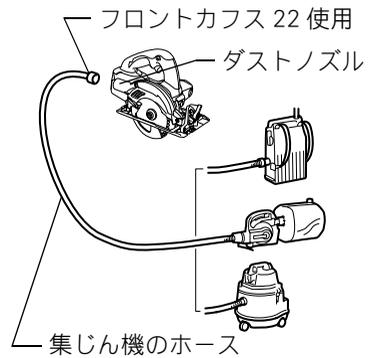
集じん機との接続

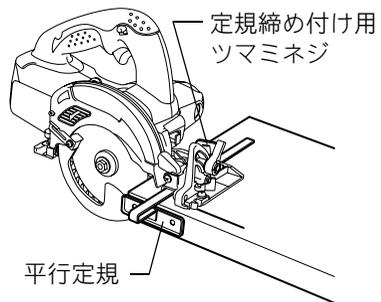
集じん機（モデル 431, 436X は除く）の場合

・ 集じん機付属のホースにジョイント 22-38（別販売品）を取り付け、本機のダストノズルに差し込んでご使用ください。

・ ホースを延長して接続する場合は、集じん機付属のホースにホース 28 （別販売品）を延長し、本機のダストノズルに差し込んでご使用ください。

注

・ ホース 28（別販売品）には工具接続用にフロントカフス 22 と 38 を同梱しています。工具の集じん口サイズに合ったカフスを取り付けてご使用ください。
・ 旧モデル 431 との接続にはジョイント 25（別販売品）をお求めください。

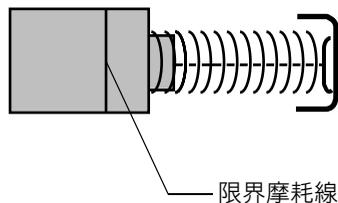
携帯用集じん機およびモデル 436X の場合

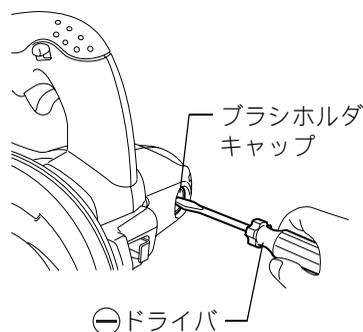
・ 集じん機付属のホース28 を直接ダストノズルに差し込んでご使用ください。

平行定規の使い方

・ 平行定規は一定の幅で切断したいときに使用してください。
・ 平行定規を取り付けるときは、ベースの前部にある定規取り付け口に定規を差し込み、定規の側面を材料の側面にピッタリと付けて、ツマミネジでしっかり締め付けてください。

⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリを抜いてください。
・　バッテリを本機に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

カーボンブラシの点検

・　カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。

カーボンブラシの交換

・　⊖ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
・　中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。

本機のお手入れ

・　乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

修理の際は

・　修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げ販売店または当社営業所に申し付けください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
福島営業所	〈0243〉(22) 1204
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
埼玉支店	〈048〉(777) 4801
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈048〉(976) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0476〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411

事業所名	電話番号
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(25) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(85) 4751
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(419) 0561
名古屋営業所	〈052〉(419) 0561
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
津営業所	〈059〉(232) 2446
四日市営業所	〈059〉(351) 0727
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184

事業所名	電話番号
大阪支店	〈06〉(6746) 7220
大阪営業所	〈06〉(6746) 7220
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈079〉(281) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(867) 6411
高松営業所	〈087〉(867) 6411
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715

882243I4

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)